

お話して下さる方のプロフィール

藤中 ひとみ (ふじなか ひとみ)

大学在学中に、ドイツ国際平和村の存在を知り、休学を決意。2016年3月から半期、ドイツ・レーゲンスブルク大学へ留学した後、2018年3月から翌年2月までの11ヶ月間、平和村の「子供たちの日常のお世話をする部署」(小さな子供たち担当)にて活動。

現在は、大学に復学し、今春卒業予定。



宮本 千絵 (みやもと ちえ)

2006年10月からの1年間、住込みボランティア(研修生)としてドイツ国際平和村施設内のキッチンにて活動。その後、2011年4月よりドイツ国際平和村・広報部門の職員として、日本向け広報、日本からの問合せ・訪問・取材、住込みボランティア(研修生)への対応などに従事。



ドイツ平和村をサポートする会の私たちは

私たちは ドイツ国際平和村の活動趣旨に賛同し、日本からも応援したいと、平和村の活動を広く紹介し、いのちと平和の大切さを伝えています。

趣旨に賛同して下さった方々から、寄付もお預かりしています。

2018年度は、皆さまからのご協力

1,186,000 円をドイツ国際平和村へ送金いたしました。

URL <http://kagayaki-fussa.tokyo.jp/dantainews/44/44.html>

ドイツ国際平和村とは

この地球上のさまざまな地域で、民族や政治対立による紛争が起きています。そんな中で傷を負いながらも、治療を受けられない危機的な状況にある子どもたちがいます。彼らに手術やリハビリの機会を提供し、回復したら母国に返す活動をしているドイツのNGO団体です。

ドイツ市民によって1967年に設立され、活動を続け52年となります。この活動は、会員からの会費と多くの人々の寄付によって支えられています。

私たちの活動に賛同して下さっている企業・団体 (順不同)

- ・株式会社 典栄
- ・武陽ガス株式会社
- ・株式会社子ども保育環境研究所
- ・多摩ケーブルネットワーク株式会社